

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年 5月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675700100
法人名	有限会社 エミ企画
事業所名	グループホーム くりの ふじユニット
所在地	鹿児島県始良郡湧水町米永181番地1 (電話) 0995-74-1220
自己評価作成日	平成 28年 5月 23日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年6月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

目の前には、栗野岳の山々や川内川があり、自然に恵まれた環境に位置しています。2階へ続く階段は温もりのある一枚板を使用し、緩やかで移動しやすい作りになっています。敷地内には、多目的ホール「ふるはうす」があり、誕生会や敬老会などを行っております。外部からの慰問を呼びかけ、地域への開放を行い吹奏楽の練習場としても活用しています。家族会の意見要望を取り入れ、エレベーターを設置し車椅子の利用者様も外への散歩の機会も多くなり、園庭での食事会や、季節に応じた活動の幅が広がっております。日々の生活では残存機能を活かし、洗濯物たたみや、調理、畑の手入れ等、利用者様の能力、意欲に応じて一緒に取り組んでいる。利用者様の中には、足腰が弱らないようにと、自主的に歩行訓練される方もいらっしゃり、転倒の不安を抱える利用者様については、訓練に付き添い意欲向上へ繋げている。職員の学ぶ意欲、よりよいケアを重視し、「本人の立場・家族の立場・職員の立場」「自分が学び伝えたい事」をテーマにカンファレンスや勉強会を計画し、ホーム内研修を充実させております。基本理念、活動目標の理解に努め、スタッフ間で互いに声を掛け合い、自然と笑顔あふれる対応を心掛けております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼・職員会議時に皆で唱和し、終業時には1日の振り返りを行い理念に沿ったケアが出来たかを確認している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	散歩や地域の行事に積極的に参加し、地域住民との交流の機会が多く持てるよう努力している。ホームの多目的ホールを開放し、地域の方が気軽に立ち寄れる場として呼びかけている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	中学生の福祉体験学習を受け入れ、スタッフは認知症サポーター講習受講の機会を生かし、地域社会へ認知症アピールに努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとに開催し、運営体制、家族からの苦情・提案事項、事故報告を行い意見を頂きながらサービス向上に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	福祉課・地域包括支援センターの担当者とは、電話や窓口に向き利用者様の相談や、アドバイスを頂いている。又、町主催の研修、地域包括支援センターの研修に参加している。ホームへの敬老会に参加を呼びかけ指導や協力、支援を頂いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員会議、ケア会議等で勉強会を開きスタッフ全員で共通理解し身体拘束防止に努めている。リビングに見守りを必ず1人置くことを徹底しており、スタッフの見守り・連携で抑制のない生活を支援している。一時的、代替がない、生命の危険など十分に説明行い同意書を頂くようにしているが、該当者はいない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議、ケア会議等で勉強会を開いており防止に努めている。入居者様に対しての言葉遣いや、対応の仕方でも虐待につながるという事を、お互いに声掛け合い意識づけている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在活用されている入居者様は居ないが、外部研修を通し日常生活自立支援事業や成年後見制度について学んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用契約、改定の際は十分な説明を行い、分からない所や不安な所は、尋ねやすい雰囲気を作り理解、納得を得るよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居時に、利用者や家族が職員や、第三者に意見や要望を表せる方法を説明し、日頃の面会時も、気軽に言ってもらえる雰囲気作りを心掛けている。又、苦情・意見要望等、職員会議で全スタッフと話し合い運営に反映している。意見箱を設置しているが入ってはいない。面会簿に書いてあるご家族もいらっしゃる。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議の時に、意見要望など話す機会がある。又、代表者は年2回個別に職員の意見や提案を聞く機会を設けている。管理者は、日常業務の中で職員と意見交換を行い、代表者と話し合い運営に反映している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者は、個々の職員の勤務状況や実績意欲など代表者に報告し、互いにやりがいのある働きやすい環境を整え、処遇改善に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修は、個々の希望に応じて勤務調整を行っている。又、スタッフからも「自分が学び伝えたい事」をテーマに挙げてもらい、ホーム内研修の中で資料作成から、発表まで担当し職員の意欲向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>町主催の会議への参加や、外部研修へ参加し、交流や意見交換、新しい情報などを得て取り入れ質の向上を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始の段階では、なかなか本人からの困り事、要望など見られないが、傾聴の時間を多く作り、良き理解者となれるように信頼関係作りに努めている。日常の会話から少しずつ、本人の望む生活、不安ごとを聞きとり関係性を築いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の抱える悩み、不安を話すことが出来るよう、傾聴・共感に努め可能な限り話し合う機会を設け、安心できる関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用前の生活状況を確認、その中でこれから先も続けていきたい事、困っておられる事の把握に努める。医療機関、他施設等との情報収集を踏まえ、今、どのような支援が必要か検討を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の生活背景・性格など把握し話をしたり、介助したりする。その時も常に利用者の言葉や表情、行動も注意深く観察し、安心して頂くことで信頼関係を作るよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が来られた時は、本人がなかなか話をされない利用者様であれば、スタッフが付き添い会話をしたり、現状報告している。めったに来られない家族も電話で話をされたり、月1度のお便りで、近況報告している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力もあり、自宅への外出・外泊も行えている。スタッフと買い物に同行して頂いたり、利用者様のかかりつけ医の継続をおこなったりしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	耳が聞こえにくい方に対しては、スタッフが間に入り会話がスムーズに出来るよう関わっている。常に、利用者を観察し状況に合わせて、一緒に話をしたりしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先に面会に行ったり、亡くなられた際は、お通夜やお葬式に参列している。偶然お会いする機会があった時は、現況を伺い、困り事があった際は相談下さるよう声を掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所時に家族と本人を含め、話し合いをしている。入所後、本人の状態など変化した時は、その時の良い方法を検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に生活暦など、本人・家族から情報収集している。その後も面会時や、本人との会話の中から、これまでの生活環境、本人の望む事を把握し支援が出来るよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	いつもと違うなど変化があった場合は、生活記録に記入し全スタッフで情報共有している。カンファレンスノートも活用している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の意向、主治医の意見などを参考に、毎月のケア会議で統一する事、注意して観察が必要な事などを話し合い、その人らしく生活して頂けるように作成している。毎月モニタリングを実施し、ケアプランに沿った支援が行えているか、今必要な支援とは何かを検討し、状況が変化した時は、現状に即した介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の記入、職員の連絡帳の記録にて情報の共有をしている。カンファレンスノートを使用したりし、ケア会議などで結果を話し合い、ケアに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者、家族の要望等を十分に聞き取り、日々の変化から予測される事をお伝えし、不満の生じないケアを心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での行事に参加したり、近くの店に買い物や、図書館へ出掛けている。行政や、地域代表の方々へ相談したり、提案を頂きながら一人一人の生活を支えている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。ホーム協力医による眼科、内科それぞれ月1回の往診となっている。体調異変時には、その時の状況に応じて病院受診、往診などの必要な支援を行い、結果はその都度家族へ報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	その都度、相談してアドバイスを貰っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時は病院関係者と情報交換を行い、病院・家族と話し合い早期退院に向けての働きかけをし、それに対する対応が出来る事をお伝えし、早期退院に繋がった例が多い。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居契約時、重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。また、そのような状態になった時に、主治医から家族へ説明後、ホームで対応出来る事、出来ない事をお伝えし、家族の要望等を確認している。要望に沿えるよう、全職員が方針を共有し支援している。看取りの事例もある。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時対応マニュアルに沿って対応している。避難訓練時に、応急手当・心肺蘇生法の訓練に参加している。入職2年以上のスタッフは全員、普通救命講習を受講している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防の指導の下に昼、夜間想定避難訓練を実施している。運営推進会議等で、緊急時の応援要請のお願いをしている。緊急時に備えた食料品、寝具、オムツ等の備蓄も確保している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄などの声掛けなどについては、小さな声で耳元でお話しする。ジェスチャーで伝えるなどの工夫をしている。一人一人の表情やしぐさを確認しながら対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が話をしやすいよう1対1で話ができるような状況を作っている。出来るだけ本人の希望を聞き出来ない時は、理由をしっかりと話す。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩に行きたいなど希望があれば行く。その時、出来ない時は話しをし、後で行く。自分で訴えがたい利用者は表情などを見て外に案内したりと、生活背景なども考慮して接している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	行きつけの美容院に行ったり、希望があれば、ホームで入浴前の散髪や、毛染めなど行っている。外出の際は、お化粧をされたり衣類も、自身で選んで頂いたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に食材取りに行き、メニューに必要な物を話をしたり、皮むきなど一人一人の利用者が出来る事をお願いしている。一緒に手伝ってもらった事など、食事の時に話をしたりして輪を広げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表を用いて、水分摂取が少ない人には、スタッフ間で声掛けをし、飲んで頂いたりしている。飲み物も少し甘めにしてたり、補水液にしたりと工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自力で出来る方は、口腔ケアして頂き、出来ない方は毎食後ブラッシングの介助をしている。義歯の方は、夜間ポリデント使用し消毒を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者の排泄パターンに沿って、声掛けにてトイレ案内を行っている。又、布パンツ着用し自身でトイレに行かれる方もいらっしゃる。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、乳製品を用いている。外への散歩や、室内での歩行訓練など体を動かす機会を作っている。利用者によっては、下剤を使用しコントロールしたり、毎日出来るだけ同じ時間に案内し、トイレに座って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は24時間対応出来る設備を活用。2日おきで入浴を予定し、状況に合わせて入浴日の変更をしたり、希望に沿った入浴の支援をしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	無理に睡眠を促さず、本人の休みたい時間に休んで頂いている。よく眠れなかったご様子の時は、職員間で申し合わせ注意を払っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別の記録に、薬の情報提供書をとじ、いつでも確認が出来るようになっている。又、主治医やホーム看護師の指示を仰いでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩、草取り、食器洗い、お盆拭き等、本人の希望を取り入れ退屈されないように心掛けている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	お花見、こいのぼり見学、ドライブ、散歩等、季節に応じた外出の計画を立てて、外出をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	ほとんどの利用者が、家族が管理しているが一部の利用者は、自分で少ない金額を持っておられ、使った時は出納帳に記入し管理している。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	切手や便箋など必要な物の準備を行い、思い思いに手紙を出されたり、電話の取次ぎを行っている。聞き取りが出来ない方については、職員が伝達をしたりして会話を楽しまれるよう工夫している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	各居室ごとの、空調換気等に心配りしている。暖房などを使う際は、濡れタオルなどをかけるなど湿度調整にも配慮している。散歩の途中で採った花など季節の花を飾っている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	リビングのソファで談笑されたり、ベランダに出て外気浴をされたり思い思いの場所で過ごされている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたダンスや、衣類、生活用品を持ってきていただき、整理をしたり、写真を飾ったり電子ピアノを持ち込み練習したり、思い思いの居室空間が出来ている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人が使い慣れた家具を持ってきてもらい、本人と話をしながら、安全面を考慮しながら、使いやすい位置を考え配置している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない